

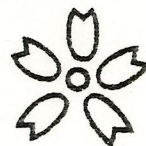
社協雄飛ヶ丘支部だより

# ゆうひ

平成5年度第4号

発行：社協雄飛ヶ丘支部  
編集長 多田英夫  
発行日：平成6年3月20日(日)

今日の社協支部だより「ゆうひ」  
・荒川政夫支部長がご逝去  
・今年度の社協雄飛ヶ丘支部の活動



## 荒川政夫さん(社協雄飛ヶ丘支部長・雄飛ヶ丘地区自治連合会長)のご冥福をお祈りします

### 「あいつ」

めっきり春めいてまいりました。また、皆さま方におかれましては、日頃から、社会福祉協議会(社協)にたいへんなご協力とご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、誠に残念なことに、社協雄飛ヶ丘支部長の荒川政夫さんが去る三月十四日の未明、ご家族にとられて永眠されました。

生前の荒川政夫さんのご功績に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

荒川さんは、四町内はもとより雄飛ヶ丘地区、那加地区、各務原市の社会福祉や青少年の育成など、地域の発展に惜しみないご努力を捧げられました。

荒川さんは、昭和三十一年に雄飛ヶ丘地区にお住まいになって以来、ボランティアそのものの生涯でした。

昭和四十八年から昭和五十三年までの五年間を雄飛ヶ丘上水道生活共同組合の理事として、また、昭和五十一年から五十二年までの三年間は常務理事として雄飛ヶ丘地区の水道事業の発展のため大変なご尽力をいただきました。

昭和五十三年からの二年間と昭和六十年から今日までの、延べ十一年間は四町内の自治会長を、そして平成五年度には自治連合会の副会長を、今年度は自治連合会長と社協支部長を務めていただきました。さらに、平成三年度からの二年間は青少年育成市民会議推進指導員としてもたいへんなご尽力がありました。

昭和五十八年から今日までの十年有餘の期間、民生児童委員として地域福祉に貢献され、誠実なお人柄は多くの人から慕われました。今年度は支部社協の支部長としての任務にもついていただきました。

平成五年四月には、荒川さんのご功績に対し、公共事務功労を称える市長表彰を受けられました。



↑ 社協支部役員会で年間計画を検討される荒川政夫さん



→ 地区体育大会(運動会)で開会のあいさつをされる荒川政夫さん

公園掃除での荒川さんの心遣い、夏・秋の市民清掃の日に朝早くから準備をされていたお姿、雄飛ヶ丘地区のためにと課題が出るたびに市役所を日参されていたお姿、「地区の人に自治会活動をもっと知ってもらいたい。社協の活動をもっと知ってもらいたい。そのために、「わが街」、「ゆうひ」を発行しよう」と発案され、実行されたのも荒川さんでした。荒川さんのご功績に感謝するとともに心よりご冥福をお祈りいたします。



平成5年度の社協雄飛ヶ丘支部の活動を振り返る

年	月	日	活 動 内 容	年	月	日	活 動 内 容	
5	4	28	常任理事会を開催し、年間の行事予定や支部社協の役員体制を話し合いました。	6	10	7	常任理事会献立会議開催	
		5	6			支部社協役員総会を開催し、 ・平成4年度活動実績及び決算を認定していただきました。 ・平成5年度活動計画及び予算を認定していただきました。	14	高齢者を囲む食事の会 (雄飛保育園園児特別出演)
							30	支部だより「ゆうひ」第3号発行
	6	8	在宅介護講習会(市社協) ・近隣ケアグループの皆さんが参加 常任理事会開催 ・在宅介護講習会の反省会		31	地区三世代ふれあい地区体育大会共催		
					27	常任理事会を開催し、市社協が主催して開催する在宅介護講習会の運営などについて話し合いました。	11	14 市民清掃の日参加
							27	市福祉大会 (講演 西川ヘレンさん)
	7	4	地区スポーツ大会共催 (インディアカ大会, 市総合体育館) 支部だより「ゆうひ」第1号発行 福祉野外映画会開催 (「風の谷のナウシカ」, 雄飛公園) 市民清掃の日参加		12	16 常任理事会開催		
					25	- 会員増強月間 - 支部だより「ゆうひ」第2号発行 (福祉野外映画感想文特集号)	26	年末友愛訪問 (独居・ねたきり老人)
							27	常任理事会献立会議開催 ・独居老人食事会の献立会議
	8	7	支部だより「ゆうひ」第2号発行 (福祉野外映画感想文特集号) 常任理事会開催 近隣ケアグループ在宅介護講習会		2	10 ひとり暮らし老人を囲む食事の会 (いろは会, 那加二婦人会有志が特別出演)		
9				12	3	11 常任理事会開催 ・総括及び決算を検討		
					14	荒川支部長ご逝去		
9				12	市福祉フェスティバル参加 地区三世代ふれあいクローケーゴルフ大会(市民運動公園)	20	支部だより「ゆうひ」第4号発行	

編 集 後 記

荒川政夫支部長が三月十四日に永眠されました。荒川さんは、かねてより社協の支部活動を雄飛ヶ丘地区の会員みなさんに知ってもらいたいものだと考えておられ、今年七月に支部だより「ゆうひ」第一号を発行されました。

以来、今回の支部だより「ゆうひ」が今年度の第四号となったものです。

記事の割り付け、文字や表現の校正、適当な写真を探して草稿に割り付ける作業、経費がかからないようにと草稿をそのままオフセット印刷にかけられるものに仕上げようとされていたこと、そして支部だよりが出来上が

るとそれを各自治会別の会員数ごとに振り分け、自分で自転車に乗って配布されていたことが思い浮かびます。また、年末に市社協がアンケート調査を実施しましたが、そのアンケート結果がやがて集約されるそうですが、そのアンケート結果の雄飛ヶ丘地区分を支部だよりには非掲載したいものだといっておられた荒川さん。

その荒川さんはもうお見えになりません。この支部だより「ゆうひ」もこの第四号を最終号として消えていくのでしょうか。

荒川政夫さんのご冥福を心よりお祈りいたします。とともに、この機会をお借りして、この支部だより「ゆうひ」をお届けしてきた舞台裏についても是非知っていただきたく思います。(編集係)